

古実式三番

この古典的な舞踊は、重要な宗教的儀式舞踊は、この国の豊作と平和を願うものです。

古実式三番は、翁の面をつけた演者が舞の開始を伝えてはじまります。そして、祝詞が捧げられ、3番目では若い女性の面をつけた演者が舞いを披露します。最後の部では、老婆役が舞を披露します。

今日では5月の藤原まつりの際に、中尊寺の北西にある白山神社の能舞台で披露されます。白山神社は、中尊寺の境内地、関山の地主神である白山神をまつる鎮守社としての役割を果たしてきました。